

ガンゼ株式会社、株式会社リブドゥコーポレーション共同調査

『介護従事者に対する調査』  
簡易レポート

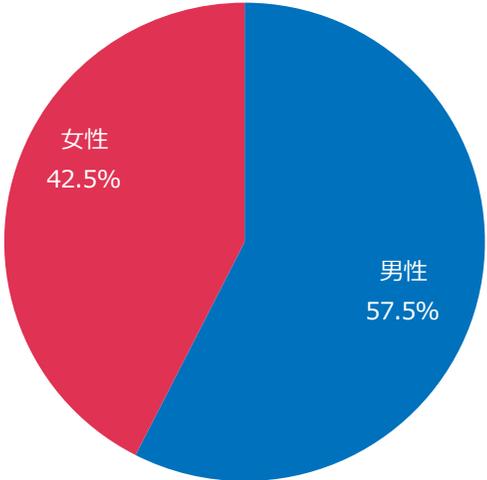
調査会社 : 株式会社ネオマーケティング  
調査実施日 : 2020年7月27日～28日

## I .回答者属性編

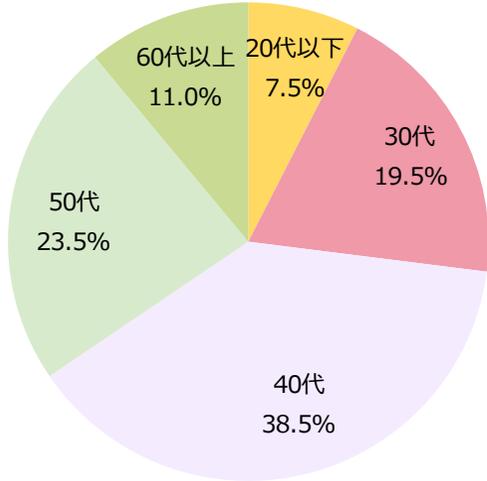
---

# 回答者属性

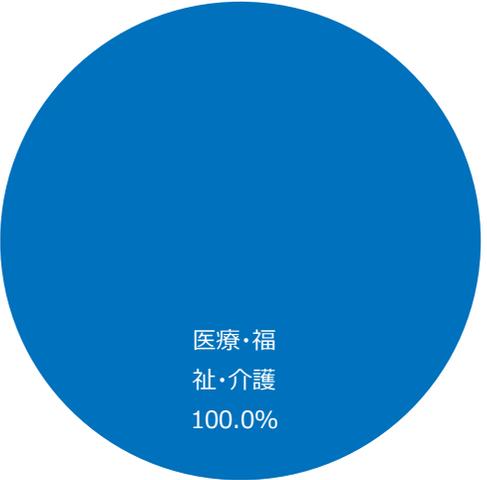
性別 (n=200)



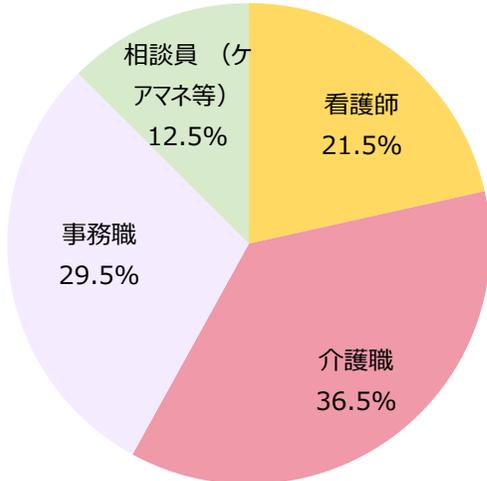
年代 (n=200)



職業 (n=200)

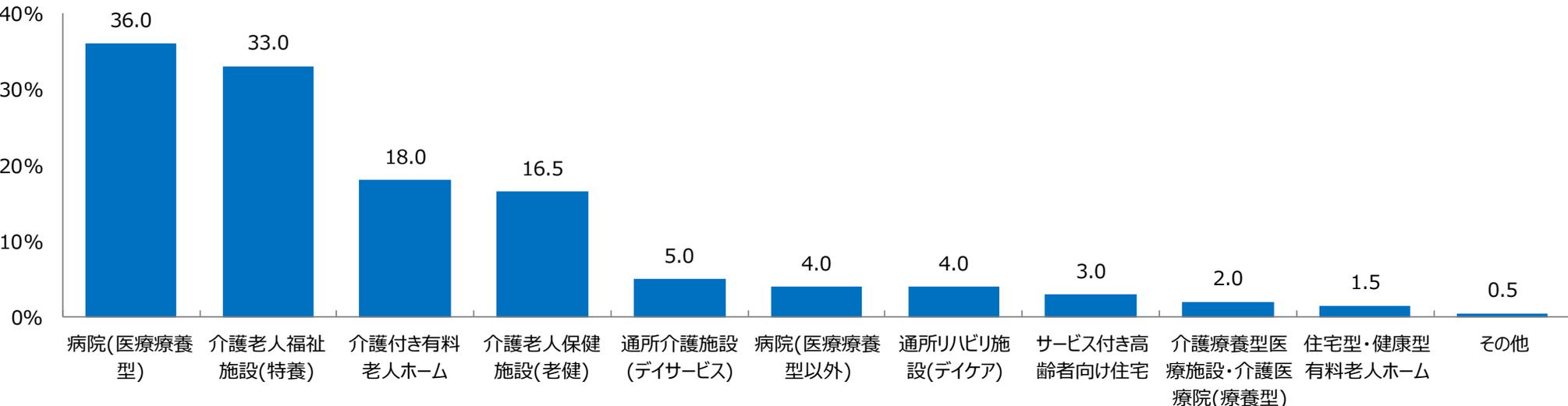


職種 (n=200)

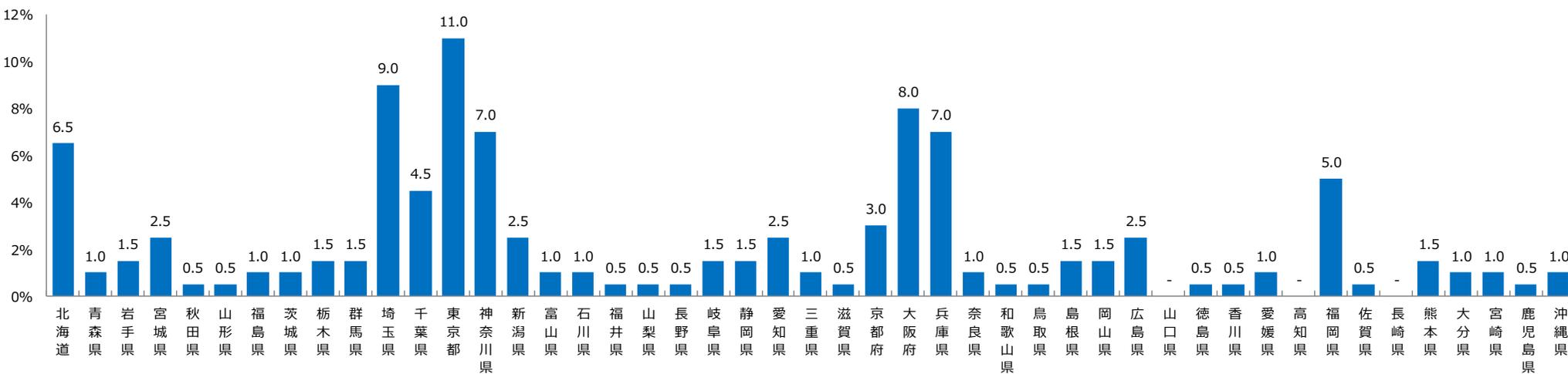


# 回答者属性

勤務施設 (n=200)



居住地 (n=200)



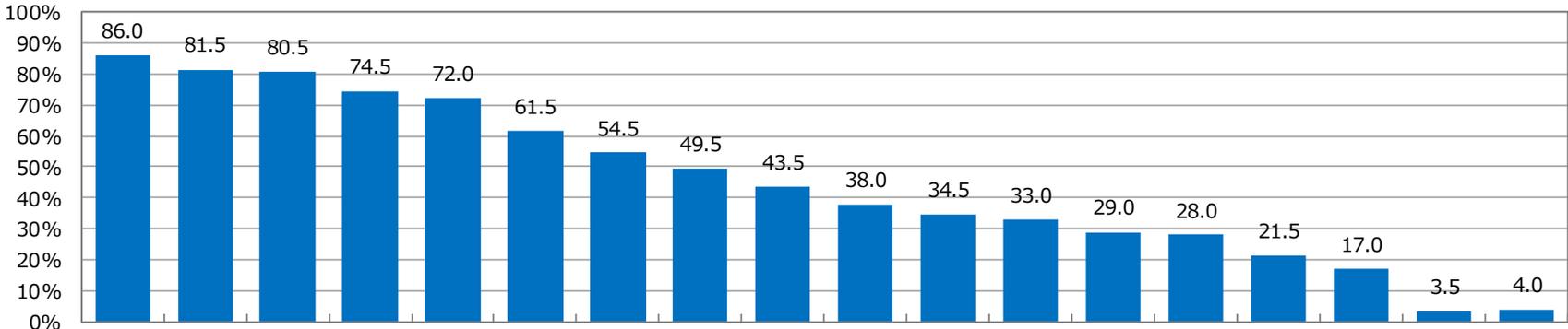
## Ⅱ. 調査結果

---

# 実施したコロナ対策

- 実施したコロナ対策について最も高いのは、「マスク着用の徹底」(86.0%)である。次いで「面会禁止」(81.5%)、「アルコール消毒をこまめに行う」(80.5%)、「検温実施」(74.5%)と続く。
- エリア別でみると、1都3県は「オンライン面談の実施」の割合が全体よりも高い。

Q1S1 [実施したこと]施設として、新型コロナウイルス感染症のために新たに実施したこと・今後（も）したいことをお答えください。（お答えはそれぞれいくつでも）



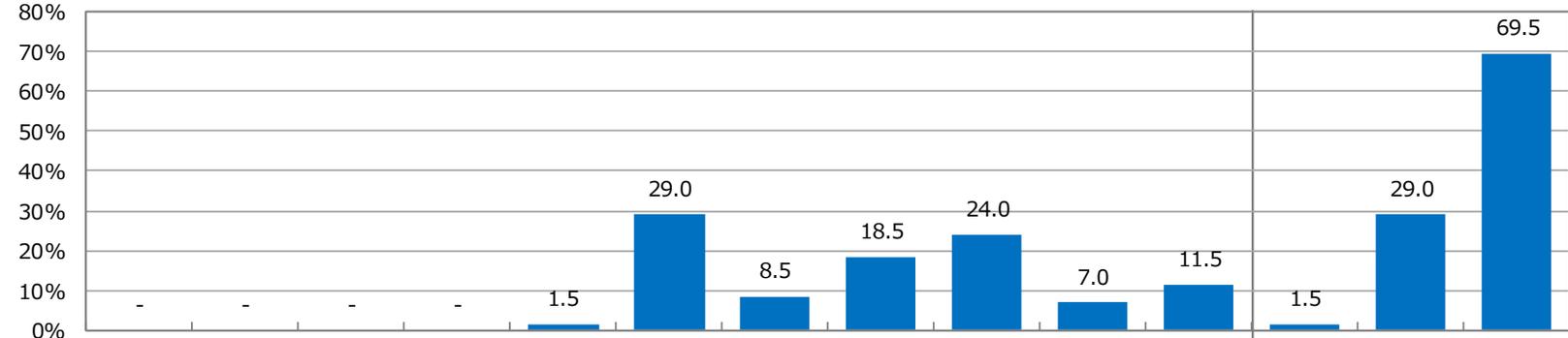
■ 全体+10pt以上  
■ 全体-10pt以下 (n=30以上)

n=		マスク着用の徹底	面会禁止	アルコール消毒をこまめに行う	検温実施	取っ手やドアノブの消毒	職員の不要不急な外出の自粛依頼	共有ルームの消毒	面談者記録の徹底	レクリエーション休止	ベッドの消毒	使い捨てエプロンの着用	フェイスシールド着用	オンライン面談の実施	調理する際の徹底した殺菌	食堂での食事禁止（個室）	入居者の衣服の個別洗濯	その他	実施したくないこと	
全体	200	86.0	81.5	80.5	74.5	72.0	61.5	54.5	49.5	43.5	38.0	34.5	33.0	29.0	28.0	21.5	17.0	3.5	4.0	
エリア別	1都3県	63	85.7	84.1	79.4	74.6	68.3	54.0	42.9	46.0	41.3	30.2	39.7	36.5	47.6	23.8	19.0	15.9	4.8	1.6
	2府4県	40	87.5	80.0	72.5	77.5	75.0	60.0	55.0	50.0	50.0	40.0	32.5	35.0	25.0	35.0	30.0	17.5	5.0	7.5
	其他都道府県	97	85.6	80.4	84.5	73.2	73.2	67.0	61.9	51.5	42.3	42.3	32.0	29.9	18.6	27.8	19.6	17.5	2.1	4.1

# コロナによる介護業務（感染対策を含む）の負担の変化

- コロナによる介護業務（感染対策を含む）の負担の変化について最も高いのは、「5点」(29.0%)である。次いで「8点」(24.0%)、「7点」(18.5%)、「10点」(11.5%)と続く。
- 職種別でみると、介護職は「8点」が最も高い。

Q2S1 [介護業務（感染対策を含む）の負担]新型コロナウイルス感染症の影響で、あなたの介護業務（感染症対策を含む）の負担は、どのように変化しましたか。新型コロナ流行前（2020年2月）を、5として介護負担の増減をお答えください。（お答えは1つ）



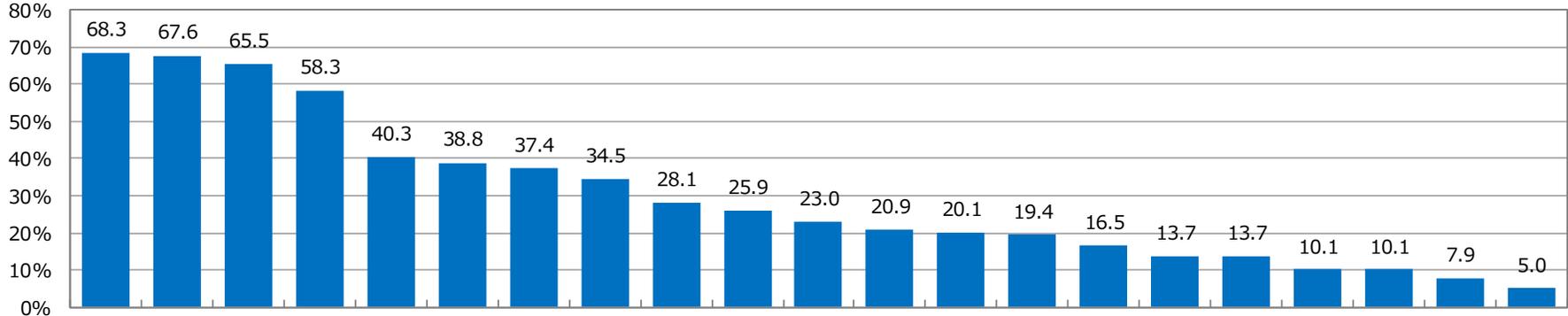
■ 全体+10pt以上  
■ 全体-10pt以下  
 (n=30以上)

		n=	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	0~4点	5点	6~10点
全体		200	-	-	-	-	1.5	29.0	8.5	18.5	24.0	7.0	11.5	1.5	29.0	69.5
職種別	看護職	43	-	-	-	-	4.7	23.3	11.6	14.0	27.9	11.6	7.0	4.7	23.3	72.1
	介護職	73	-	-	-	-	-	16.4	9.6	21.9	28.8	5.5	17.8	-	16.4	83.6
	事務職	59	-	-	-	-	-	42.4	6.8	16.9	18.6	8.5	6.8	-	42.4	57.6
	相談職	25	-	-	-	-	4.0	44.0	4.0	20.0	16.0	-	12.0	4.0	44.0	52.0

# コロナにより負担が増えた介護業務

- コロナにより負担が増えた介護業務について最も高いのは、「入居者・職員アルコール消毒」(68.3%)である。次いで「マスク着用の習慣化」(67.6%)、「施設内の除菌消毒」(65.5%)、「検温回数が増えたこと」(58.3%)と続く。
- 職種別で見ると、事務職は「事務連絡が増えたこと」の割合が全体よりも高い。

Q3S1 [負担が増えたと感じる業務] 介護業務の負担が増えたとお答えになった方にお聞きます。新型コロナウイルス感染症の影響で、あなたが、負担が増えたと感じる介護業務をお答えください。(お答えはいくつでも) その中で、最も負担が増えたと感じる介護業務をお答えください。(お答えは1つ)



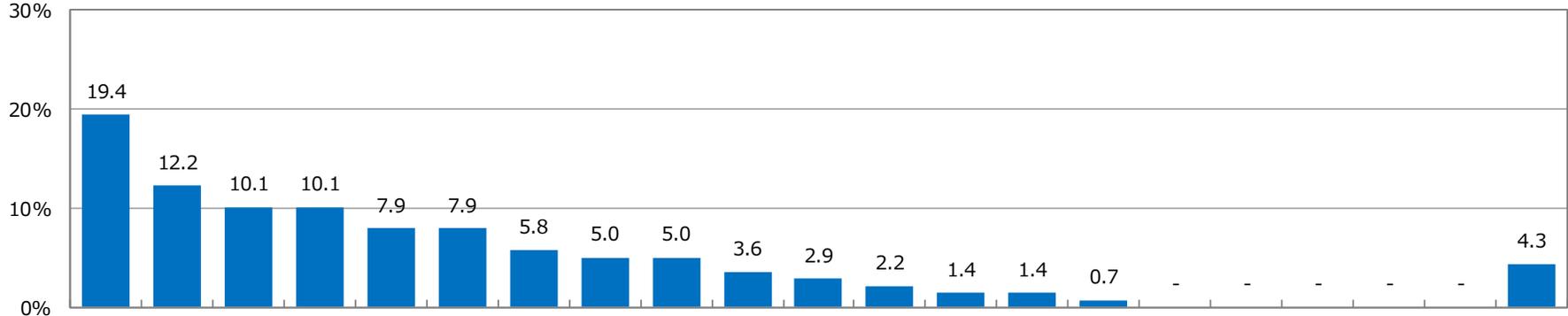
■ 全体+10pt以上  
■ 全体-10pt以下 (n=30以上)

n=		入居者・職員アルコール消毒	マスク着用の習慣化	施設内の除菌消毒	検温回数が増えたこと	コミュニケーション上の配慮	備品の確保	事務連絡が増えたこと	入居者家族とのコミュニケーション	入居者に促すこと	検閲	食事介助	会議	入浴介助	排泄介助	口腔ケア	着替え介助	問診	服薬介助	洗濯	調理(衛生管理)	その他	
全体	139	68.3	67.6	65.5	58.3	40.3	38.8	37.4	34.5	28.1	25.9	23.0	20.9	20.1	19.4	16.5	13.7	13.7	10.1	10.1	7.9	5.0	
職種別	看護職	31	64.5	51.6	61.3	45.2	35.5	38.7	45.2	32.3	25.8	35.5	25.8	22.6	19.4	19.4	12.9	16.1	12.9	12.9	3.2	12.9	
	介護職	61	73.8	78.7	77.0	60.7	44.3	31.1	24.6	32.8	29.5	26.2	19.7	24.6	26.2	19.7	19.7	9.8	9.8	11.5	6.6	1.6	
	事務職	34	52.9	58.8	52.9	58.8	32.4	50.0	52.9	35.3	29.4	17.6	8.8	26.5	14.7	11.8	14.7	5.9	23.5	5.9	5.9	11.8	2.9
	相談職	13	92.3	76.9	53.8	76.9	53.8	46.2	38.5	46.2	23.1	15.4	15.4	-	7.7	7.7	-	7.7	-	15.4	7.7	15.4	7.7

# コロナにより最も負担が増えた介護業務

- コロナにより最も負担が増えた介護業務について最も高いのは、「施設内の除菌消毒」(19.4%)である。次いで「マスク着用の習慣化」(12.2%)、「入居者・職員アルコール消毒」(10.1%)、「検温回数が増えたこと」(10.1%)と続く。
- 職種別でみると、看護職は「検温回数が増えたこと(16.1%)」、「備品の確保(16.1%)」、介護職は「施設内の除菌消毒(31.1%)」、事務職は「事務連絡が増えたこと(20.6%)」、相談職は「コミュニケーション上の配慮(15.4%)」が最も高い。

Q3S2 [最も負担が増えたと感じる業務]介護業務の負担が増えたとお答えになった方にお聞きます。新型コロナウイルス感染症の影響で、あなたが、負担が増えたと感じる介護業務をお答えください。(お答えはいくつでも) その中で、最も負担が増えたと感じる介護業務をお答えください。(お答えは1つ)



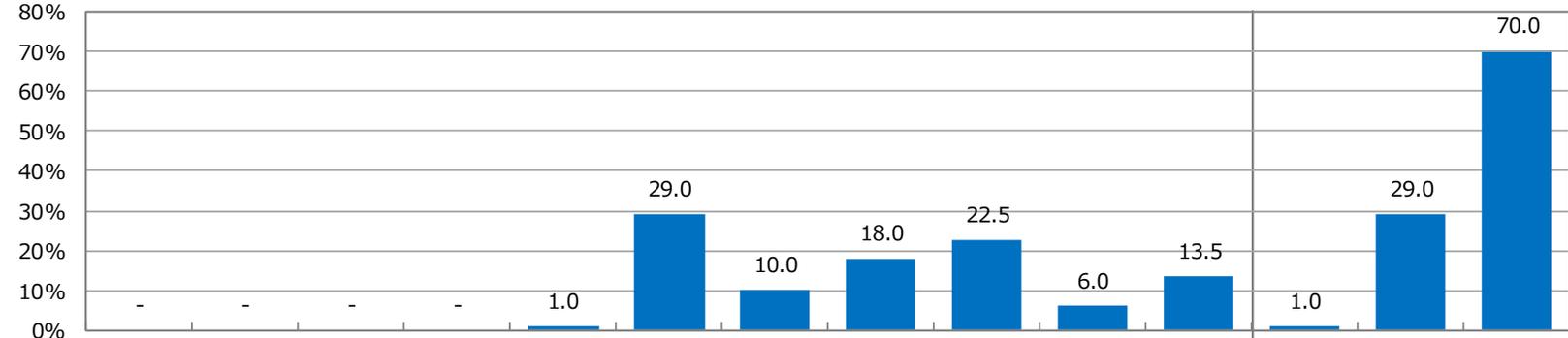
■ 全体+10pt以上  
■ 全体-10pt以下 (n=30以上)

n=		施設内の除菌消毒	マスク着用の習慣化	入居者・職員アルコール消毒	検温回数が増えたこと	コミュニケーション上の配慮	事務連絡が増えたこと	食事介助	入居者家族とのコミュニケーション	備品の確保	入居者に密を避けるよう促すこと	問診	排泄介助	入浴介助	レクリエーション方法の検討	調理(衛生管理)	服薬介助	着替え介助	口腔ケア	洗濯	会議	ケアカンファレンス	その他
全体	139	19.4	12.2	10.1	10.1	7.9	7.9	5.8	5.0	5.0	3.6	2.9	2.2	1.4	1.4	0.7	-	-	-	-	-	-	4.3
職種別	看護職	31	9.7	3.2	16.1	9.7	3.2	12.9	3.2	16.1	-	6.5	3.2	-	3.2	-	-	-	-	-	-	-	9.7
	介護職	61	31.1	19.7	4.9	6.6	1.6	4.9	6.6	1.6	6.6	-	3.3	-	-	1.6	-	-	-	-	-	-	1.6
	事務職	34	14.7	5.9	14.7	14.7	2.9	20.6	-	2.9	2.9	2.9	-	5.9	2.9	-	-	-	-	-	-	-	2.9
	相談職	13	-	15.4	15.4	7.7	23.1	15.4	7.7	7.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.7

# コロナによる精神的な負担の変化

■ コロナによる精神的な負担の変化について最も高いのは、「5点」(29.0%)である。次いで「8点」(22.5%)、「7点」(18.0%)、「10点」(13.5%)と続く。

Q4S1 [精神的な負担]新型コロナウイルス感染症の影響で、あなたの精神的な負担はどのように変化しましたか。新型コロナ流行前（2020年2月）を、5として精神的な負担の増減をお答えください。（お答えは1つ）



■ 全体+10pt以上  
■ 全体-10pt以下  
 (n=30以上)

		n=	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	0~4点	5点	6~10点
全体		200	-	-	-	-	1.0	29.0	10.0	18.0	22.5	6.0	13.5	1.0	29.0	70.0
職種別	看護職	43	-	-	-	-	4.7	27.9	9.3	9.3	25.6	9.3	14.0	4.7	27.9	67.4
	介護職	73	-	-	-	-	-	21.9	6.8	24.7	26.0	4.1	16.4	-	21.9	78.1
	事務職	59	-	-	-	-	-	37.3	11.9	18.6	20.3	3.4	8.5	-	37.3	62.7
	相談職	25	-	-	-	-	-	32.0	16.0	12.0	12.0	12.0	16.0	-	32.0	68.0

# コロナにより増えた精神的な負担

- コロナにより増えた精神的な負担については、「入居者をコロナに感染させてはいけないというプレッシャー」を意図する回答が多い。

Q5T1：精神的な負担が増えたとお答えになった方にお聞きます。新型コロナウイルス感染症の影響で、精神的な負担が増えたと感じる理由を教えてください。（お答えは具体的に）

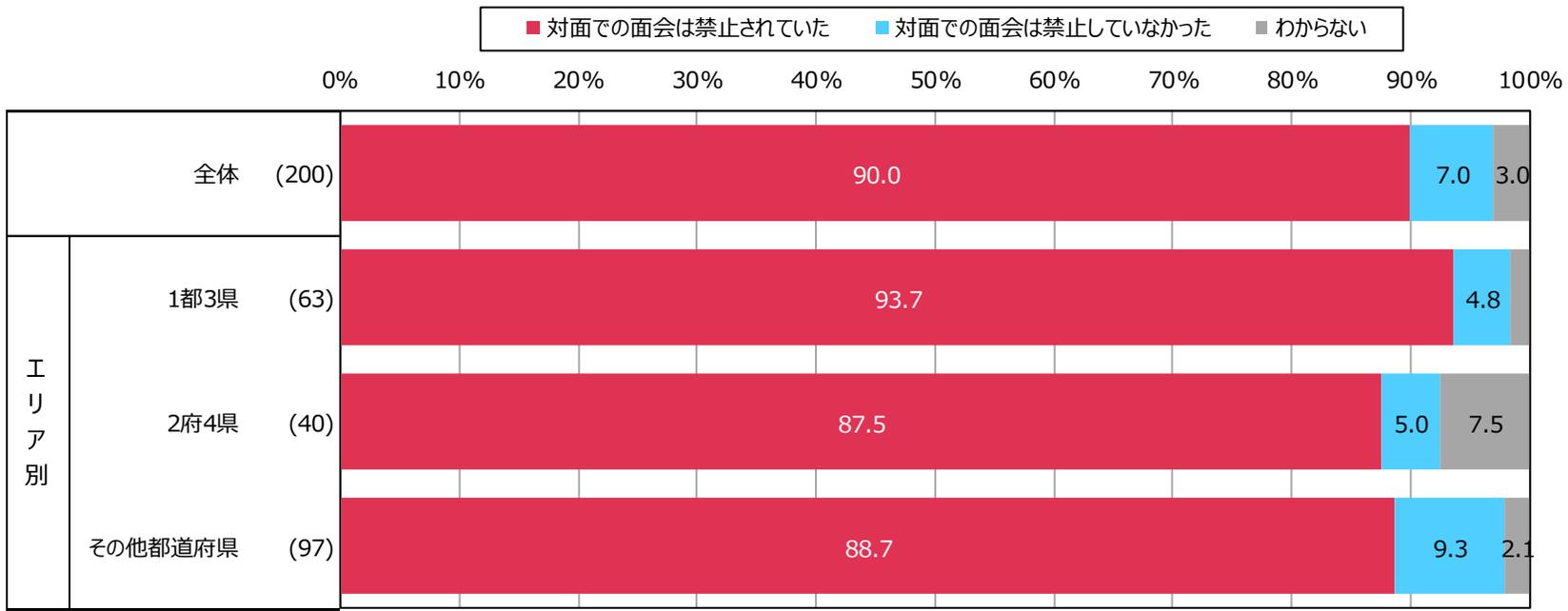
## 実際の回答

- 入所者に絶対うつしてはいけないから、プライベートも気が抜けない いつまで続くかゴールが見えないのが辛いプレッシャー（茨城県 40代 女性）
- 自分が感染することにより、大勢の人に迷惑がかかるので感染しないように対応することがかなり負担。無症状感染しているかもしれないという恐怖。認知症の利用者に毎回毎回マスク着用の説明、外している人に声をかけなければならないことが負担。（東京都 30代 女性）
- 全てに気を遣わなければならないので、ほんの少しの油断も出来ない環境に負担を感じられます。（北海道 50代 女性）
- 患者や職員に感染者が出て、報道されて晒し者のようになる日が来るのかと思うと、気が気では無い。（大阪府 40代 男性）

# 緊急事態宣言期間中の来訪者の面会禁止状況

■ 緊急事態宣言期間中の来訪者の面会禁止状況について最も高いのは、「対面での面会は禁止されていた」(90.0%)である。次いで「対面での面会は禁止していなかった」(7.0%)、「わからない」(3.0%)と続く。

Q7 緊急事態宣言期間中、来訪者の対面での面会は禁止していましたか。(お答えは1つ)

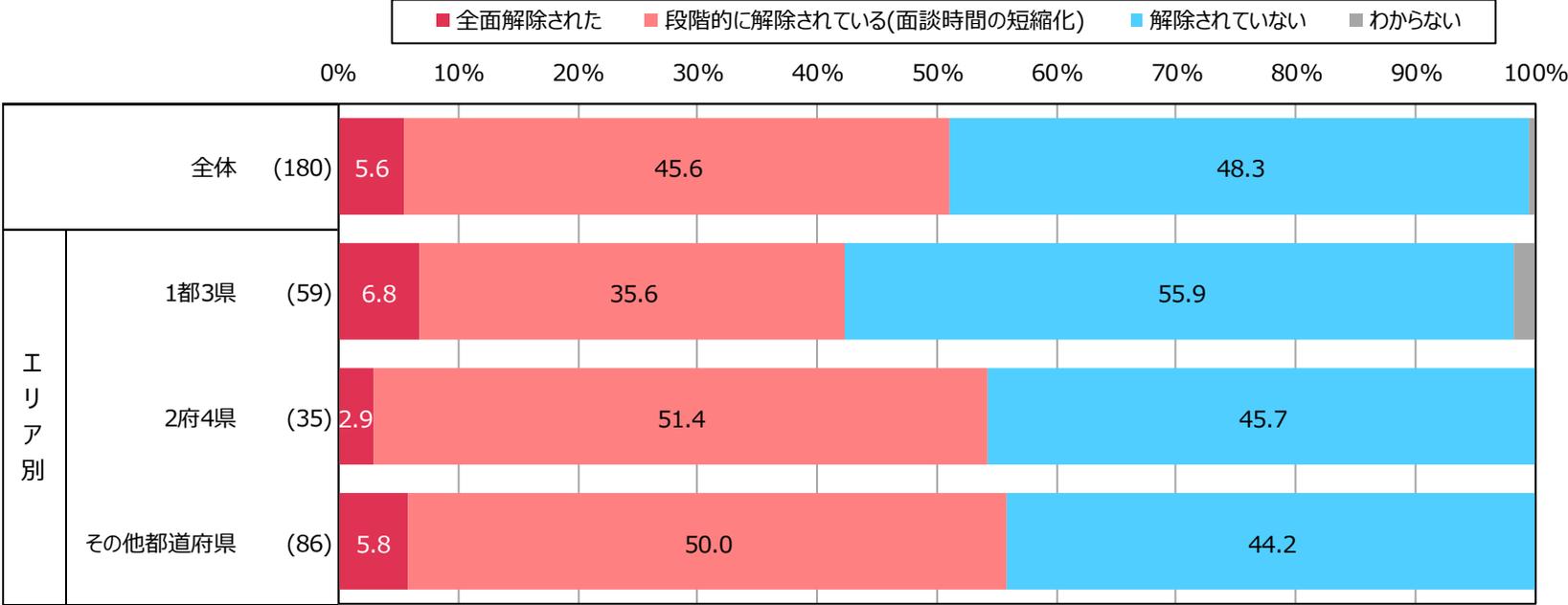


2%未満の数値ラベルは非表示

# 来訪者の面会の解除状況

■ 来訪者の面会の解除状況については、「全面解除された」は5.6%、「段階的に解除されている(面談時間の短縮化)」(45.6%)を合計すると51.1%である。

Q8 緊急事態解除後の現在、来訪者の対面での面会は解除されましたか。(お答えは1つ)

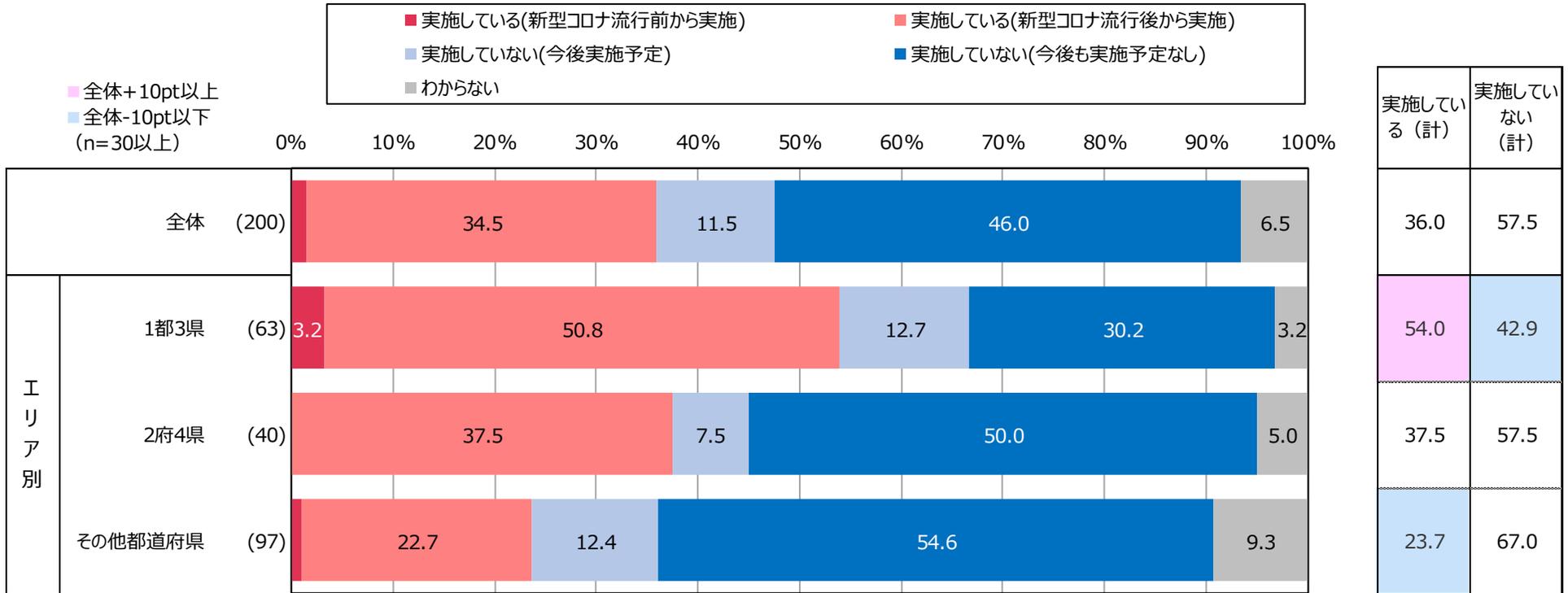


2%未満の数値ラベルは非表示

# 入居者と家族間のオンライン面談の実施状況

- 入居者と家族間のオンライン面談の実施状況については、「実施している(新型コロナ流行前から実施)」は1.5%、「実施している(新型コロナ流行後から実施)」(34.5%)を合計すると36.0%である。
- エリア別でみると、1都3県は「実施している(計)」の割合が全体よりも高い。

Q9 あなたが現在勤務している病院・施設では、入居者と家族間のオンライン面談を実施されていますか。(お答えは1つ)

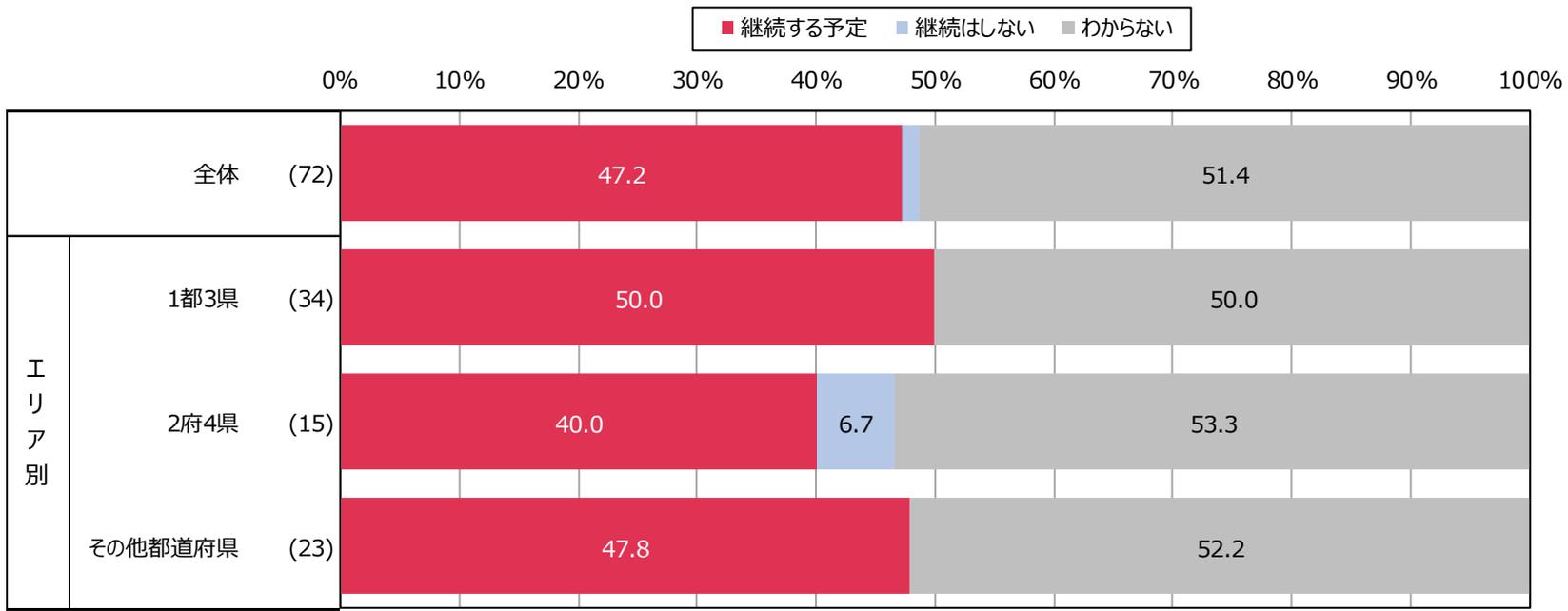


2%未満の数値ラベルは非表示

# オンライン面談の継続意向

■ オンライン面談の継続意向について最も高いのは、「わからない」(51.4%)である。次いで「継続する予定」(47.2%)、「継続はしない」(1.4%)と続く。

Q10 あなたがお勤めの施設では、今後もオンライン面談を継続しますか。(お答えは1つ)

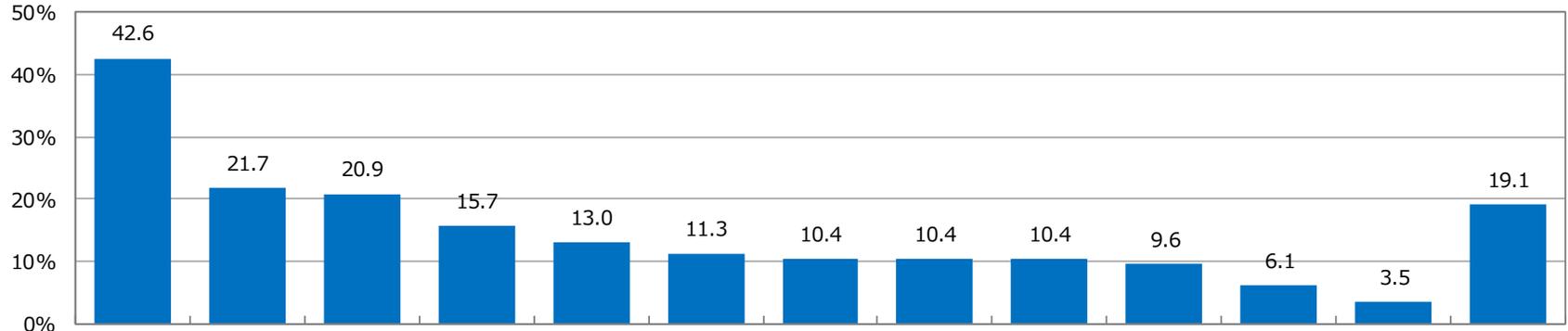


2%未満の数値ラベルは非表示

# オンライン面談を実施していない理由

■ オンライン面談を実施していない理由について最も高いのは、「オンライン面談対応機器がない(もしくは少ない)から」(42.6%)である。次いで「オンライン面談のシステム設定に対応できるスタッフがいないから」(21.7%)、「オンライン面談対応機器を買う費用捻出ができないから」(20.9%)、「オンライン面談対応の部屋がない・足りないから」(15.7%)と続く。

Q11 オンライン面談を実施していないとお答えになった方にお聞きます。オンライン面談を実施していない理由をお答えください。(お答えはいくつでも)



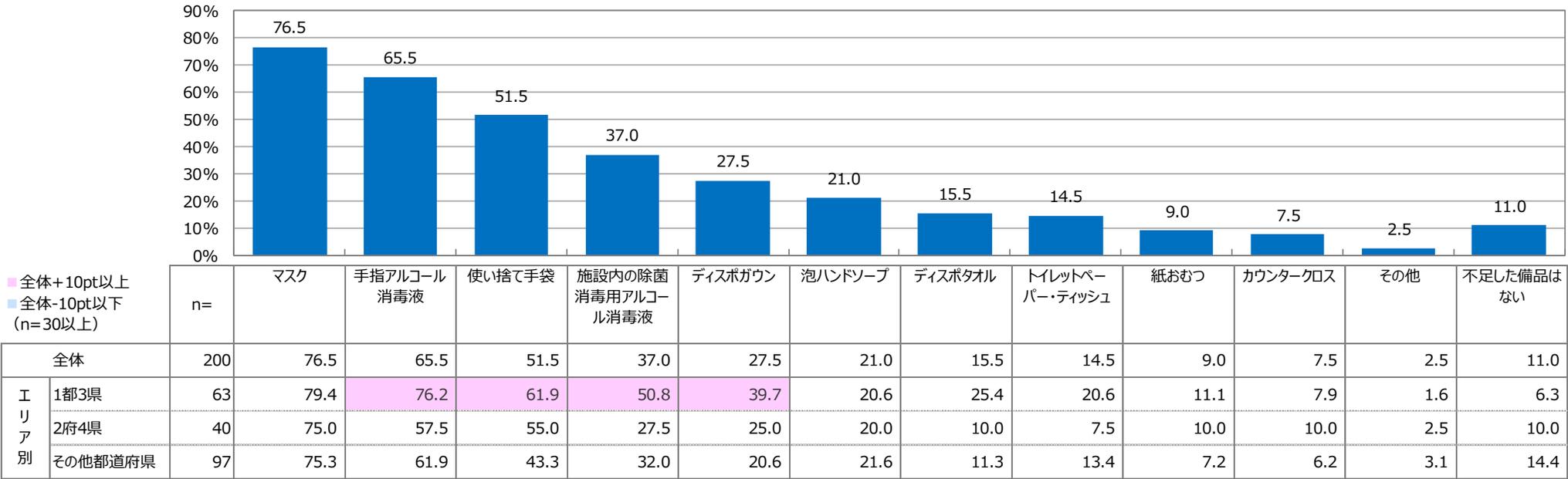
■ 全体+10pt以上  
■ 全体-10pt以下 (n=30以上)

n=		な器オン	スタムオン	きをオン	か部オン	とイン入	いネット	な利用	る対人	だセキ	か考え	いも対	入居者	そ	わ
		いがラ	ムン	をオン	ら屋ラ	が多面	ないト	い用	対面	だセキ	考え	も対	居者	他	か
		かイン	ン	オン	がラ	面談の	か環	方法	が	ユリ	た面	ら	にオン		ら
		も面	に	ン	ない	家族	境が	が	多	テイ	会を	この	部屋		い
		し談	対	面	・面	が	安	よ	い	面	なし	面	に		か
		く対	面	談	足	えが	定	く	か	が	か	が	移		ら
		は応	か	い	り	なオ	し	わ	ら	不	う	う	動		ら
		少機	き	で	対	い	て	か	希	安	た	た	な		い
全体	115	42.6	21.7	20.9	15.7	13.0	11.3	10.4	10.4	10.4	9.6	6.1	3.5	19.1	
エリア別	1都3県	27	37.0	25.9	7.4	18.5	11.1	18.5	3.7	22.2	11.1	7.4	11.1	3.7	22.2
	2府4県	23	34.8	21.7	21.7	13.0	8.7	-	17.4	4.3	8.7	13.0	4.3	4.3	17.4
	その他都道府県	65	47.7	20.0	26.2	15.4	15.4	12.3	10.8	7.7	10.8	9.2	4.6	3.1	18.5

# コロナ禍で不足した備品

■ コロナ禍で不足した備品について最も高いのは、「マスク」(76.5%)である。次いで「手指アルコール消毒液」(65.5%)、「使い捨て手袋」(51.5%)、「施設内の除菌消毒用アルコール消毒液」(37.0%)と続く。

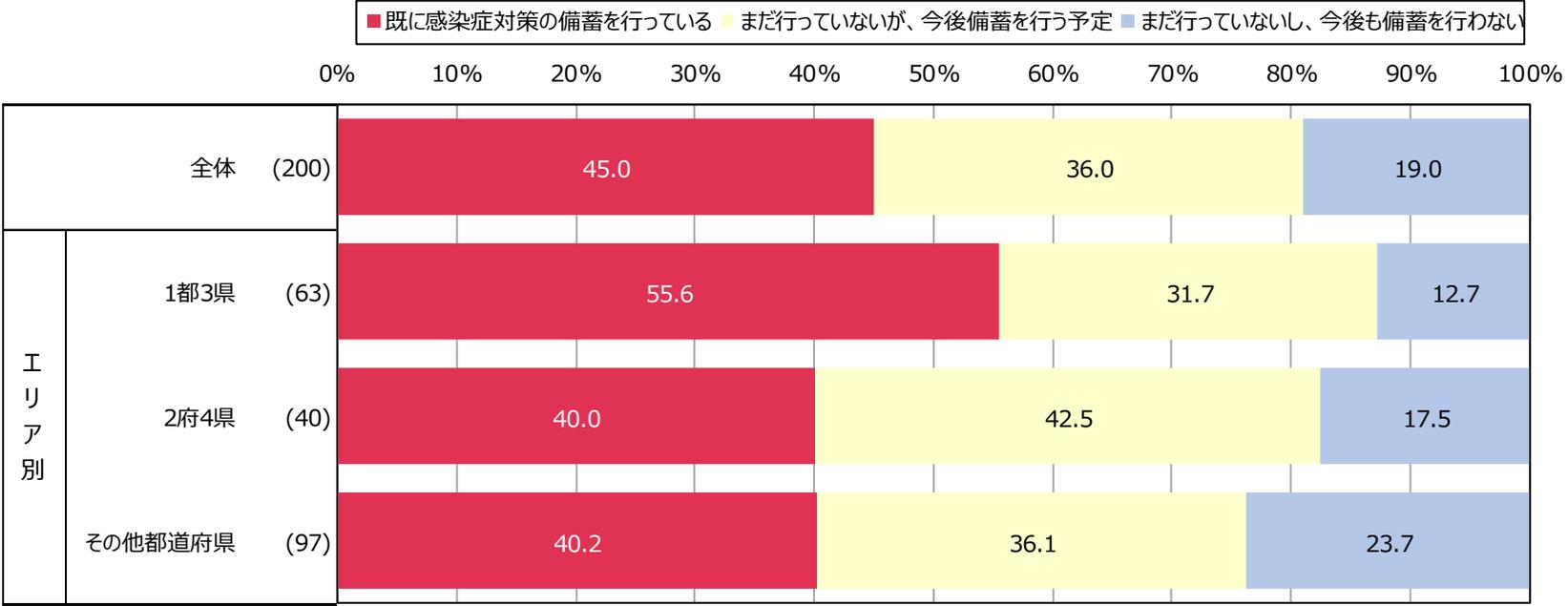
Q15 あなたが勤めている施設には、コロナ禍で不足した備品は何かありますか。(お答えはいくつでも)



# 感染症対策の備蓄実施予定

- 感染症対策の備蓄実施予定について最も高いのは、「既に感染症対策の備蓄を行っている」(45.0%)である。次いで「まだ行っていないが、今後備蓄を行う予定」(36.0%)、「まだ行っていないし、今後も備蓄を行わない」(19.0%)と続く。

Q14 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、あなたの施設では、感染症対策の備蓄を行う予定はありますか。(お答えは1つ)



2%未満の数値ラベルは非表示

## 他にこんな情報もございます

- コロナによる介護施設の勤務時間やスタッフの変化
- コロナの介護施設における排泄ケアへの影響 など

### 調査に関するお問合せ

ガンゼ株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報IR室  
06-6348-1314 (担当：柳澤)

### 製品に関するお問合せ

ガンゼお客様相談室 0120-167874  
受付時間：月曜日～金曜日 9：30～17：00 (土日祝日、年末年始などの休暇を除く)

肌着が「衣料」ではなく、  
肌や心をいたわる「衣療」となるように。  
それが、私たちの願いです。

衣料 から 衣療 へ。

**MediCure**  
メディキュア